

村岡秀明の日めくり 総義歯セミナー

入れ歯三十一景

村岡秀明/著

毎日ひとつずつ覚えよう

見るだけで
楽しく学べる
日めくり
セミナー



CONTENTS

- 1 総義歯には総義歯の形がある
- 2 左右対称になる
- 3 「おやま」の法則
- 4 顎骨の形を採る 骨面を採る
- 5 まず何を見るか
- 6 咬合平面
- 7 咬合高径は顔貌で見る
- 8 上顎顎堤頬側の骨吸収度合いを観察する
- 9 下顎顎堤に付着歯肉があるか
- 10 不具合が起こっているか
- 11 体型と性格
- 12 動かないようにしたら動かさないようにする
- 13 上顎中切歯の位置と咬合平面が決まればすべてが決まる
- 14 上下顎別々に作る
- 15 咬合採得を行ってから印象採得を行う
- 16 臼歯部の排列はパウンドラインを参考に
- 17 リンガライズドにしてフルバランスにする
- 18 なるべく旧義歯には手をつけない
- 19 コピーデンチャーを利用する
- 22 周囲組織の力を借りて義歯の維持安定を図る
- 21 顎堤には吸収しない所がある
- 22 総義歯の模型上には外形線を引かない
- 23 デンスポットとフィットテスターの使い方は異なる
- 24 リマウントする
- 25 義歯を押さえようとする筋肉と外そうとする筋肉がある
- 26 得意技を持つ
- 27 アルジネートで練習する
- 28 必ずうまくなり続ける
- 29 性格を見る
- 30 勉強会で恥をかく
- 31 難症例への対応



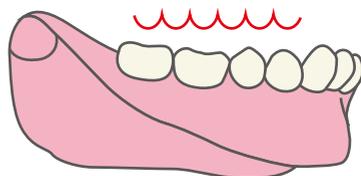
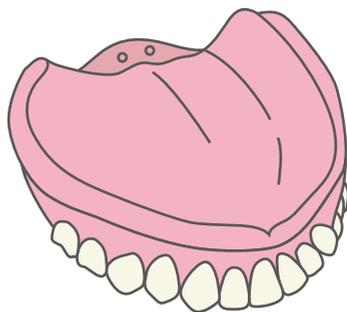
1

総義歯には 総義歯の形がある

スーツが同じ形をしているように
口の中に入れる総義歯も同じ形になる

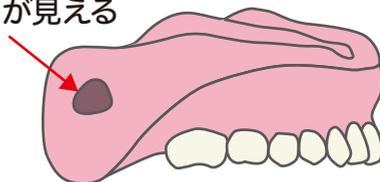


まず形を覚えよう



咬合面と舌側辺縁は平行に

横から見て
ここが見える



1 の解説

総義歯には総義歯の形がある。まずこの“形”を理解することが大切である。1人の患者さんがいて、そこに5人の名人達人が集まって総義歯を作ると、みんな同じ形になる。それは、名人達人が総義歯の形というものを知っていて、その形になるように作っているからである。

自分が上達していくと、5人の患者さんの総義歯がみんな同じような形になってくる。表情筋や舌を中心とした周囲組織と協調した義歯の形を作るわけであるから、周囲組織との関連性を学ぶことも大切である。しかし、誰もが同じ所に同じ筋肉があるので、同じような形になるのである。上顎は筋肉の付着部位より辺縁が長くなることはないので形が決まりやすいが、下顎の辺縁は筋肉の付着部位を越えて設定される。したがって下顎に関しては、特に術者が形を知り、意識的にその形を作り上げていかなければならない。

31

難症例への対応

難症例という言葉はおかしい

ある人には難しいけれど、
ある人には易しい

難症例を
易症例に
する

26

27

28

30

参照